

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
1-① 要介護認定の適正化（認定調査）				
1 第7期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
要介護認定を行う認定審査会において、適正かつ公平な認定が行われるよう、認定調査員や審査会委員の県主催の地区別現任研修への参加、自主研修の実施を行う。				
2 R2年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
適正かつ公平な認定が行われるよう、県主催の地区別現任研修への参加、自主研修の実施		-		-
3 R2年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	○	○
4 R2年度の取組を踏まえた効果や成果				
適正かつ公平な認定が行われるよう、県主催の地区別現任研修への参加、自主研修の実施		新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、書面研修となったが、例年のような意見交換等の取り組みを行った。		
5 R2年度の課題、改善すべき点等				
適正かつ公平な認定が行われるよう、県主催の地区別現任研修への参加、自主研修の実施		引き続き、研修に参加することで、意見交換会の機会をつくり調査にばらつきがないよう、適正かつ公平な認定が行われるようにする。		
6 R3年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	○	○
7 R3年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
適正かつ公平な認定が行われるよう、地区別研修会への参加、自主研修の実施		-		
調査資料に矛盾がないかのチェック		100%		

＜目標設定時の参考＞

* 保険者機能強化推進交付金の指標

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
1-② 要介護認定の適正化（介護認定審査会）				
1 第7期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
要介護認定を行う認定審査会において、適正かつ公平な認定が行われるよう、認定調査員や審査会委員の県主催の地区別現任研修への参加、自主研修の実施を行う。				
2 R2年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
適正かつ公平な認定が行われるよう、県主催の地区別現任研修への参加、自主研修の実施		—		—
重度変更率の標準化		7%		9%
3 R2年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
×	○	○	○	○
4 R2年度の取組を踏まえた効果や成果				
適正かつ公平な認定が行われるよう、県主催の地区別現任研修への参加、自主研修の実施		新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、書面研修となったため、例年のような意見交換等の取り組みはおこなえなかった。		
重度変更率の標準化		県平均に近づいてきている。		
5 R2年度の課題、改善すべき点等				
適正かつ公平な認定が行われるよう、県主催の地区別現任研修への参加、自主研修の実施		引き続き、研修に参加することで、意見交換会の機会をつくり調査にばらつきがないよう、適正かつ公平な認定が行われるようにする。		
重度変更率の標準化		引き続き、県平均に近づくようにする。		
6 R3年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
	○	○	○	○
7 R3年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
適正かつ公平な認定が行われるよう、地区別研修会への参加、自主研修の実施		—		
重度変更率の標準化		7.40%		

＜目標設定時の参考＞

* 保険者機能強化推進交付金の指標

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
2 ケアプラン点検				
1 第7期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
利用者の自立支援に資する適切なケアプラン作成に向けて、ケアマネジャーの資質向上を目的とし、市地域包括支援センター主催の居宅介護支援事業所等研修会において、ケアプラン点検会を実施する。これにより、自身のケアプランに対する振り返りを促す機会を設ける。				
2 R2年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
ケアプラン点検		2回/年		2回/年
3 R2年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	×	○	○	×
4 R2年度の取組を踏まえた効果や成果				
ケアプラン点検		利用者の自立支援のために、個別の状態に応じた生活課題の見極めと課題分析が実践されているかを振り返ってもらうため、アセスメントシーンにおける自己点検会を6月に実施した。自立支援に向けたケアプランの質の向上のためのケアプラン点検を2月に実施した。ケアマネジャーからは、自身のアセスメントの不十分さに気付かされたといった感想を多くいただくことが出来、振り返りの機会となった。		
5 R2年度の課題、改善すべき点等				
ケアプラン点検		ヒアリングに向けて当日の効果的な質問へつなげるために、ケアプランの事前読みや確認作業に膨大な時間がかかっており、通常業務に大きな負担がかかっている。		
6 R3年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	×	○	○	×
7 R3年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
ケアプラン点検		36件/年		
ケアマネジメント研修		2回/年		

＜目標設定時の参考＞

* 保険者機能強化推進交付金の指標

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
3-① 住宅改修等の点検（住宅改修の点検）				
1 第7期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
住宅改修の申出が合った際は住宅への訪問を行い、利用者、ケアマネジャー、施工業者による工事前の打合せに直接立会う。在宅における生活基本動作の補助と、身体状況から自立支援と安全性を確保するための改修内容であるかの確認を行う。				
2 R2年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
住宅改修施工前訪問調査		全件		全件（85件）
3 R2年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	×	○	×	×
4 R2年度の取組を踏まえた効果や成果				
住宅改修施工前訪問調査		リハビリテーション専門職が関与する試みとして、本課所属の理学療法士（市職員）と連携し、改修工事施工前の訪問調査を行った。受給者の身体状況に応じた自立支援の改修となるよう、専門的視点で改修箇所についての助言・提案を行うことで、効果的な改修に繋がっている。		
5 R2年度の課題、改善すべき点等				
住宅改修施工前訪問調査		施工後の使用状況や生活改善状況の実態把握ができていない。今後も継続的に理学療法士等のリハビリテーション専門職が積極的に関与できるよう、サービス事業所の協力体制づくりが必要。		
6 R3年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	×	×
7 R3年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
住宅改修施工前現地確認		100%（全件）		
リハビリテーション専門職による点検		10%		

＜目標設定時の参考＞

* 保険者機能強化推進交付金の指標

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
3-② 住宅改修等の点検（福祉用具購入・貸与の点検）				
1 第7期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
軽度者の福祉用具貸与について、自立支援の機会を阻害することになっていないか、ケアマネジャーのモニタリングに同行し、福祉用具の貸与・購入について、その必要性・妥当性の確認を行う。				
2 R2年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
福祉用具購入・貸与調査		20件／年		24件／年
3 R2年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	×	×	×
4 R2年度の取組を踏まえた効果や成果				
福祉用具購入・貸与調査		点検対象を日常生活自立度（寝たきり度）に定め、①軽度者の3モーターベッドと付属品の必要性、②歩行器等の歩行支用具の活用度、③褥瘡予防具の必要性について、自立支援の阻害要因となっていないか確認を行った。また、レンタル手すりやスロープ貸与については、住宅改修の可否についても検証を行う機会となり、後日、改修工事に繋がった例もあった。		
5 R2年度の課題、改善すべき点等				
福祉用具購入・貸与調査		住宅改修で半永久的に問題解消されるようなものもレンタル品として、数年に渡って貸与されている状況を確認することがあった。利用者の身体状況を随時把握し、自立支援のための必要不可欠な貸与であるか、担当ケアマネジャーのモニタリングに同行して定期的な訪問調査を行い、振り返りを促す機会としていく。		
6 R3年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	×	×
7 R3年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
福祉用具購入・貸与訪問調査		24件（2件×12か月）		

＜目標設定時の参考＞

* 保険者機能強化推進交付金の指標

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
4-① 縦覧点検・医療情報との突合（縦覧点検）				
1 第7期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
①居宅介護支援請求におけるサービス実施状況一覧表、②重複請求縦覧チェック一覧表、③算定期間回数制限縦覧チェック一覧表等、国保連合会へ縦覧点検を委託し、確認の必要を要する情報データを活用し、適正化に結び付ける。				
2 R2年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
縦覧点検情報の活用		10回		0回
3 R2年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	×	×	×	×
4 R2年度の取組を踏まえた効果や成果				
縦覧点検情報の活用		国保連に委託し縦覧点検を実施した。また、縦覧点検結果をもとに送付される各種帳票から不適切請求の傾向などの分析を行い、事業者実地指導等への活用を予定したが、委託による点検にとどまり、重層的な独自の取り組みに結びつけることはできなかった。		
5 R2年度の課題、改善すべき点等				
縦覧点検情報の活用		国民健康保険団体連合会から縦覧点検による確認帳票が複数送られてくるが、そのすべての帳票を十分に活用できていない。主要4帳票（①算定期間回数制限縦覧チェック一覧表、②重複請求縦覧チェック一覧表、③単独請求明細書における受付審査チェック一覧表、④居宅介護支援請求におけるサービス実施状況一覧表）の縦覧点検結果をもとに、給付の誤りや不適正な請求等の偏りの分析につなげていきたい。		
6 R3年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	×	×	×
7 R3年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
縦覧点検分析結果を実地指導に活用		2回/年		

＜目標設定時の参考＞

* 保険者機能強化推進交付金の指標

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
4-② 縦覧点検・医療情報との突合（医療情報との突合）				
1 第7期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
国保連の給付実績をもとに、提供されたサービスの整合性の確認や、介護と医療の重複請求がないか確認を行う。国保連からの情報を活用し、医療保険者と連携をとって確認を行う。				
2 R2年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
医療費情報突合リストの確認		-		全件
3 R2年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	×	×	×
4 R2年度の取組を踏まえた効果や成果				
医療費情報突合リストの確認		医療給付情報突合リストで抽出される対象者について、健康保険課レセプト点検係と連携し、介護側の入所・入居系サービスと医療側の入院情報の突合作業を行った。医療と介護の重複請求の排除につながっている。		
5 R2年度の課題、改善すべき点等				
医療費情報突合リストの確認		毎月、国保連から提供される医療情報突合リストを活用し、保険者において確認が必要なものについては、確実に突合作業を実施している。		
6 R3年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	×	×	×
7 R3年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
医療費情報突合リストによる点検		全件（100%）		

＜目標設定時の参考＞

* 保険者機能強化推進交付金の指標

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
5 介護給付費通知				
1 第7期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
利用者本人またはその家族に対して、年4回利用したサービスの内容をお知らせし、実際に事業所に支払われている費用を確認してもらい、適正なサービスの利用を促す。通知にあたっては、郵送時期、効果的な周知のあり方を検討し、利用者が理解しやすいようリーフレット等を貼付した介護給付費通知を発送する。				
2 R2年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
リーフレット等を活用した通知		4回／年		2回／年
3 R2年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	×	○	×	×
4 R2年度の取組を踏まえた効果や成果				
リーフレット等を活用した通知		国保連に委託して作成した介護給付費通知書を4回発送した。これにあわせて、口腔機能維持による介護予防の啓発のため、「口腔体操」、「顔面体操」に関するリーフレットを通知書に同封して送付した。口の衛生状態を保つ日頃の取組が全身の健康状態維持につながることを意識していただく機会とした。		
5 R2年度の課題、改善すべき点等				
リーフレット等を活用した通知		国保連に作成を委託している圧着ハガキを年4回郵送しているが、給付費抑制効果は少ないと感じている。既存の給付費通知に合わせて、市の介護保険事業に関するもので、わかりやすいテーマを少しずつ取り上げて、手に取って関心をもってもらえるような通知となるよう工夫が必要。		
6 R3年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	×	○	×	×
7 R3年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
リーフレット等を活用した効果的な通知		4回（3か月おき）／年		

＜目標設定時の参考＞

* 保険者機能強化推進交付金の指標

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
 （介護給付適正化事業）

事業項目				
6 給付実績の活用				
1 第7期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
国保連合会から送付される各種給付実績関連帳票を活用し、上半期、下半期の年2回、適正化指導に活用するための分析作業を行う。				
2 R2年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
給付実績の活用		—		4回／年
3 R2年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	×	×	×
4 R2年度の取組を踏まえた効果や成果				
給付実績の活用		「認定調査状況と利用サービス不一致一覧表」、「福祉用具貸与費一覧表」を活用し、適正化事業で行う訪問調査対象者を抽出するための基礎資料とした。また、「生活援助中心型実績一覧」を活用し、過剰な訪問介護（生活援助）の利用者を抽出し、その利用が適切なものであるか、担当ケアマネジャーと専門職で構成する検証会を開催した。ケアプラン点検においても活用した。		
5 R2年度の課題、改善すべき点等				
給付実績の活用		引き続き、国保連から提供される各種給付実績関連帳票を活用し、上半期、下半期の年2回、適正化指導に活用するための分析・検証作業を行う。		
6 R3年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	×	×	○
7 R3年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
適正化事業に関する検証作業への活用		6回/年		

＜目標設定時の参考＞

* 保険者機能強化推進交付金の指標

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
(介護給付適正化事業)

事業項目				
その他取組				
1 第7期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
生涯を通じた口腔ケアの実施はQOL（生活の質）の維持向上、重度化防止等に効果が見込まれる。あらゆる機会や場所において、口腔ケアの重要性を伝え、定期的な健診へ結びつけることにより適正化に資するよう努める。また、鹿児島大学と連携した「種子島スタディ」の取組を行う。介護予防拠点である各地域の元気アップ教室において、口腔機能や身体機能、栄養等の総合的機能評価を行い、口腔機能向上が身体機能へ与える影響について共同研究を実施する。				
2 R2年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
口腔ケアへの取組についての指導・助言		—		8回
「種子島スタディ」事業		—		口腔体操の普及 4団体
3 R2年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
4 R2年度の取組を踏まえた効果や成果				
口腔ケアへの取組についての指導・助言		口腔機能の維持管理の重要性を認識してもらうために、毎月実施している被保険者証交付会において、口腔ケアについて講話を実施した。（4～7月は新型コロナウイルス感染症対策により中止。）		
「種子島スタディ」事業		令和2年度は当初より、新型コロナウイルス感染症の影響で未評価地域での評価が行えなかったが、令和3年1月から評価済の地域の元気アップ教室(4か所)へ訪問し、鹿児島大学の先生の指導のもとで口腔体操を作成し、各地域において普及活動を行った。		
5 R2年度の課題、改善すべき点等				
口腔ケアへの取組についての指導・助言		生涯を通じた口腔ケアはQOL（生活の質）の維持向上、重度化防止等に効果が見込まれることから、あらゆる機会、場所において、その重要性を伝え、定期的な受診へ結びつける。		
「種子島スタディ」事業		令和3年1月から5か所の元気アップ教室の普及活動を予定したが、1か所は市内において新型コロナウイルス感染者が確認された為、延期となった。オーラルヘルスの重要性を地域住民に伝え、口腔体操の定着を図っていく。		
6 R3年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
7 R3年度の取組計画等				
事業内容			数値目標	
口腔ケアマネジメントに関する研修			1回/年	
口腔体操の普及 (元気アップ教室実施全団体)			17団体	

＜目標設定時の参考＞

* 保険者機能強化推進交付金の指標